

ブロック：西海ブロック

1. クエ 九州北西・山口海域

海域	九州北西・山口海域	参加機関	水産研究・教育機構 水産技術研究所 山口県水産研究センター 長崎県総合水産試験場 佐賀県玄海水産振興センター 福岡県水産海洋技術センター
----	-----------	------	--

(1) 調査の概要

- ・機構は、調査指針および状況報告書を取りまとめた。
- ・機構は生物情報収集調査を開始
- ・機構と山口県は共同で、行動追跡調査を開始
- ・参加機関は各県内の調査市場の抽出及び漁獲データの収集を開始

(2) データ収集状況

- ・機構では117尾のクエを買い取り、精密測定を開始した。また、参加機関が保有するデータの集約及び共有化を開始した。
- ・機構と山口県は共同で山口海域に生息するクエの行動追跡を開始した（図1）。15尾にアーカイバルタグを装着し、放流した（図2）。うち、4尾は放流地点付近で再捕した。解析は再捕数がまとまって得られてから実施予定である。
- ・参加機関は、各県内の主要市場のうちクエの水揚げ実態がある市場を抽出するとともに、過去データの収集が可能かを合わせて調査した。その結果、山口県では唐戸、仙崎、萩市場、長崎県では長崎市場及び各漁協の電算データ、佐賀県では玄海漁協、福岡県では各漁協の電算データを収集することが可能となった。

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 2021年10月18～20日に15尾のクエにアーカイバルタグ（水温、照度、水深のデータ収集）を装着して、同年10月22日に漁獲された山口県海域へ放流した。関係機関への再捕報告依頼をポスターで周知した。
- (2) 年齢・成長： 117個体を分析中
- (3) 成熟・産卵： 情報収集中
- (4) 被捕食関係： 情報収集中

(4) 備考

- ・農林統計の対象種でないことから、魚市場での漁獲データを収集
- ・魚価が高く、活魚扱いが主であるため、漁獲物の測定が困難



図 1. 山口海域におけるクエの行動追跡調査の供試魚捕獲・放流地点



図 2. アーカイバルタグを装着したクエ